

2021 事故速報（対象：幼児、小学生、中学生、高校生、一般）

（注）その月に報告のあった事故をまとめた速報です。

2021/5/24

No	発生日	報告日	学年等	性別	経験年数	病名	重大 準重大	場所 状況	技名等	概要	事故防止の指針
1	1/9	1/25	高1	男	11年5カ月	中心性頸髄損傷	—	練習	背負投げ	相手との練習中（乱取り中）、相互に背負投げの駆け合いとなり、相手から低い姿勢で背負投げを掛けられ、頭頂部より畳に突っ込んで受傷した。	○コロナ禍においては常に基礎体力や筋力、受け手が十分に備わっているかを把握して無理のない練習を心掛ける。また、極端に低い姿勢の背負い投げをかけないことや低い背負い投げに対応できるように日頃から受け身の練習を徹底する。
2	3/13	3/18	中2	男	7年7カ月	頸椎損傷	—	練習（部活）	三角固め	反復練習の受をしていた際に失神し、部活顧問が近寄って声をかけたところ反応し、首の痛みを訴えたことから、すぐに救急搬送された。	○寝技では、打ち込みや乱取りを問わず、相手の頸部が過屈曲、伸展、ねじれなど無理な状態になっていないかを十分に注意して練習を行う。 中学生では三角絞が禁止されていることから、今回のように絞め落ちを見逃しやすいことに指導者は留意しておく必要がある。特に脚を使って絞める、返す等の動作を行う時は十分に相手の状態を確認して行う。また、首が曲がって苦しい場合には無理せず「参った」等の動作で相手に伝える。
3	3/21	3/28	小6	男	5年6カ月	脊髄しんとう	—	試合	大内刈り	試合中に相手から大内刈りを掛けられ、お互いにもつれ転倒した際に、側頭部を畳に打ち、頸部を捻転した。	○試合等に参加する場合、コロナ禍の影響で基礎体力や筋力が十分に備わっていない可能性に留意する。また、昨年度に引き続き今年度も日常練習の中で基礎体力や筋力の向上、受け身の練習を徹底する必要がある。特に、刈り技で後方に倒れる場合の受け身の習熟や倒れながら同体で投げないなど取と受の指導を徹底する。
4	5/5	5/7	高1	男	7年	脳しんとう	—	試合	寝技 (相手の反則)	試合中に寝技から立ち上がった際の相手の反則行為（背を畳につけている相手を引き上げ、これを畳に突き落とす）により後頭部を強打した。	○普段の練習から反則行為となる危険な動作、危険な技をかけないなどの指導を徹底する。特に頭部、頸部の重大事故につながる動作や行為については具体的に危険な状況を示して指導を徹底する。 ○試合では審判員は危険な状況を察知した場合は「待て」で試合を止め、反則を厳格に取ることで再発防止を徹底する。
5	5/16	5/17	高3	男	6年	頭部打撲症 頸椎捻挫	—	試合	谷落し	試合中に相手から谷落しを掛けられ、左側頭部を打撲した。	○3度目の緊急事態宣言の発令など、コロナ禍の影響が長引く中で練習や試合が再開され、体力や筋力が十分に備わっていないことや学校ごとの練習時間の格差などから頭部、頸部の重大事故の発生が危惧される。昨年度に引き続き今年度も日常練習の中で体力や筋力の向上、受け身の習熟を徹底する。また、大会運営は頭部・頸部の事故防止に十分留意する。
6											
7											
8											
9											
10											

【凡 例】

- 「重大」（重大事故）：「頭部外傷、頸椎損傷、熱中症などにより死亡もしくは重篤な後遺障害が生じた事故（見舞金支給に該当する事故）」
- 「準重大」（重大事故に準ずる事故）：「頭部外傷、頸椎事故、熱中症により手術、もしくは長期間の入院をした事故、その他事故抑止のための参考となる特異な事故」

【全柔連見舞金制度】

全柔連は、見舞金制度を設けており、その費用（600円）は登録時に支払ってもらっています。一部には、大会に出場しない、昇段しない等の理由で登録しない競技者も見受けられます。柔道を安心して楽しむために、柔道をやられる人は全員、登録（見舞金制度加入）をお願いいたします。